



進路の悩み その2

次に、文系・理系で迷っている人がいるようだ。これは、記述しなかった人の中にもたくさんいるかもしれない。確かに迷うところだろう。「自分が好きだと思えるのは理系の科目なのに、テストをすると、どうも理系の科目のできがよくない」とか、「自分が進みたいのは文系学部なのだが、高校の勉強そのものは理系の科目の方が好きだ」とか、いろいろあるに違いない。

そもそも文系・理系という分け方に意味があるのだろうかという意見もあるのだが、現実問題（＝入試科目の違い）として文系・理系が明確に存在するのは事実なので、とりあえずそれに沿った選択をせざるを得ない。

これは、やはり将来どんな「職業」につきたいのかということが基本になるだろう。その職業につくために大学でどのような勉強をしなければならないのか、そのためにはどのような学部・学科に行くのがいいのか、そして、それは文系なのか理系なのか、といった感じで、「なりたい自分」というゴールから遡って考えることになる。だから、この辺を学級タイムなどを使ってしっかり調べてほしいわけだ。案外、知らない学部・学科が有名大学にあったりするものだ。固定観念をもたず、いろいろな資料に当たってみよう。

それと関連していえば、例えばNさんのような悩みを持っている人もいるに違いない。しかし、本当に薬学がやりたいなら数学を得意になろうとするはずで、それができないということは、自分にとって薬学なんてその程

度のものだということなのではないだろうか。よく「夢はかなう」というが、それは夢に向かって努力するからであって、努力する意志がないことをいつまでも悩んでいても仕方ない。サッサと見切りをつけて、次の目標を見つけた方がベターだろう。

ただ、その際（結果的には同じことになるとはいっても）、「理系ができないから…」とか「この科目は嫌いだから…」と決めて決めるのではなく、「文系が得意だから…」とか「この科目が好きだから♡…」といった気持ちで決めてほしいものだと思う。

Dさんのように、すでにオープンキャンパスに参加した人もいる。いくつかのオープンキャンパスに参加すれば、どの大学がイイのか（自分にあっているのか）、自然に分かってくるものだ。積極的に参加しよう。ただ、Dさんに関して言えば、とりあえず何になりたいのかを、漠然とでもイイから考えて、その上でオープンキャンパスに臨むようにすると、さらに有益な体験が得られるに違いない。

Gさん、Lさんのように、具体的な目標が定まりつつある人もいる。目標が具体的に決まるからこそ、次のステップに行けるし、そこでまた新たな問題と出会うことにもなる。でも、そうやって自分の道を（未知を！）切り拓いていくのだ。早くスタートできれば、それだけ多くのステップを重ねることができ、それだけ真剣に自分の将来を見つめられるということだ。

何にしる後期は進路。しっかり考えよう！